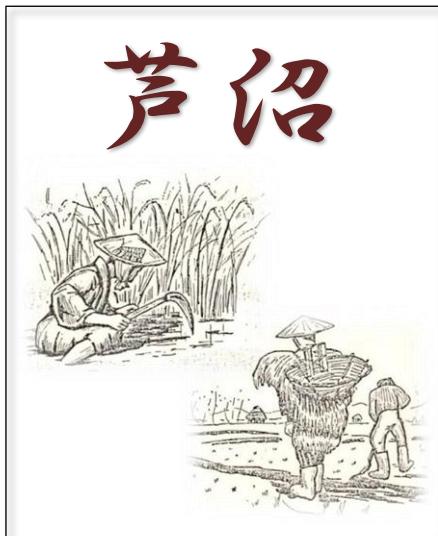


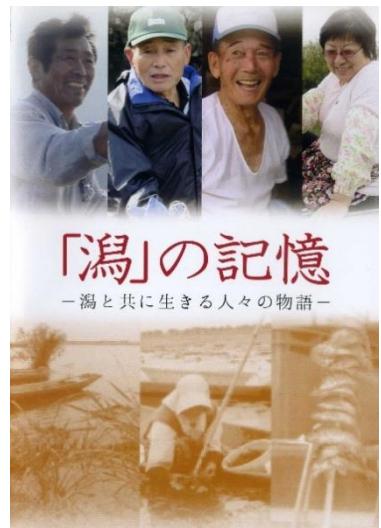
3月上映会のご案内

今月は、二本立てで上映します。

潟と共に生きてきた 越後平野の生い立ち



【1954年／VHS／43分】



【2016年／DVD／47分／新潟市潟環境研究所】

3月16日(木)13:30-15:00

3月26日(日)13:30-15:00



2単位認定

＜定 員＞ 各回95人

＜開 場＞ 13:00～

本編の上映前（13:10～13:25）に、新潟の地域映像を上映します。

＜鑑賞するには無料鑑賞券が必要です＞

◇ 無料鑑賞券を事前配付します

2月28日(火)・3月1日(水) 13～14時

I階 制作演習室 にて

・おいでいただいた方に、ご希望の席位置の無料鑑賞券をお渡します。

◇ 電話予約もできます

2月28日(火) 13時から上映会前日まで

・TEL.025-284-6110

・席位置は選べません。

・無料鑑賞券は当日お渡します。

・予約後のキャンセルは電話で連絡してください。

◇ 予約で席が残った場合、当日配付をします。

※ 上映会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、期日、内容が変更になることがあります。

※ 館内の温度調節が難しいため、必要な方は防寒具等をご用意ください。

■ 催主：県立生涯学習推進センター
■ 運営：映画ボランティアの会
■ 会場：県立生涯学習推進センター ホール
新潟市中央区女池南3-1-2
Tel 025-284-6110



作品紹介

3月16日(木)・26日(日) 二本立てで上映します。

芦沼（あしぬま）【1954年／VHS／43分】

新潟県の蒲原平野には海面より低い湿田があり、腰まで没する深田は農作業を困難にするばかりか米の収穫もわずかなものでしかなかった。ここに住む農民が田舟を使って農作業をしたり、水田の土の流出を防ぐために田のあぜに芦を植えたりするなどの努力と工夫を重ねてきた様子と、昭和30年代の耕地整理事業によって、300年にわたって農民を苦しめた泥田が乾田化されるまでを紹介する。

「潟」の記憶－潟と共に生きる人々の物語－

【2016年／DVD／47分／新潟市潟環境研究所】

昭和30年代以降、水田の乾田化、潟の干拓が進み、新潟市における潟端の暮らしは大きく変わった。潟と共に暮らし、生業してきた人々が、その経験を語る記憶集。

新潟県立図書館所蔵 関連資料 ～今回の上映作品に関連のある資料をご紹介します～

〔キーワード1：新潟市の土地改良〕

◆「水と土と農民 創立60周年記念誌」

亀田郷土地改良区／編 亀田郷土地改良区 2013

◆「蒲原平野の20世紀」 新潟市歴史博物館／編 新潟市歴史博物館 2009

◆「芦沼略紀 亀田郷・未来への礎」

農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所／編

農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所 2008

◆「亀田郷 写真集 水と土と農民」 亀田郷土地改良区／編 亀田郷土地改良区 2002

〔キーワード2：新潟市の“潟”〕

■「上堰潟ガイドブック プラス仁箇堤」

新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議／制作

新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議 2022

■「みんなの潟学 越後平野における新たな地域学」

新潟市潟環境研究所／編 新潟市潟環境研究所 2019

■「潟ボーイ's 鳥屋野潟語り継ぎプロジェクト」

U・S T Y L E／企画・制作 新潟市南商工振興会、鳥屋野潟読本編集委員会 2012

■「ようこそ福島潟へ 潟先案内」 ねっとわーく福島潟／編 ねっとわーく福島潟 2003

※資料のお問い合わせ TEL025-284-6001（新潟県立図書館）